

会議録

会議録	平成26年度 第1回豊田市公共交通会議
次 第	<ol style="list-style-type: none">1 開 会2 会長あいさつ3 平成26年度の取り組みについて4 議 事 【協議案件】<ol style="list-style-type: none">(1) 路線延伸について ◆三好ヶ丘線（愛知学泉大学・日赤豊田看護大学スクールバス）(2) おいでんバス車両の追加について ◆豊田東環状線 燃料電池バス投入による車両追加(3) 地域公共交通確保維持改善事業について ◆平成27年度 生活交通ネットワーク計画(4) バス停の新設・移設について ◆下山地域バス(5) 自家用有償旅客運送の登録更新について ◆足助地域バス、旭地域バス【報告案件】<ol style="list-style-type: none">(1) 各種イベントに対応した運行計画の変更について （豊田おいでんまつり、奥矢作温泉郷花火大会、上中のしだれ桃）(2) 平成25年度の利用状況について5 その他<ol style="list-style-type: none">(1) エコモビ推進表彰候補団体募集について(2) (仮) 都心環境計画への取り組みについて(3) 次回会議の開催予定について6 閉 会
日 時	平成26年6月26日（木） 14：00～15：45
場 所	豊田市役所 南庁舎7階 南73委員会室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 岩田 明 (国土交通省中部地方整備局) 小河原 恵吾 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理：鈴木) 古橋 昭 (愛知県地域振興部交通対策課) (代理：磯谷) 山田 篤司 (愛知県豊田加茂建設事務所) 伊藤 豊明 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所) 渡邊 純一 (愛知県警察 豊田警察署) (代理：緒方) 高木 幹雄 (愛知県警察 足助警察署) 近藤 直人 (豊田市都市整備部) 小澤 伸也 (社会福祉法人 豊田社会福祉協議会) 須賀 進 (豊田市区長会) 鈴木 重郎 (豊田市老人クラブ連合会) 澤田 恵美子 (豊田市消費者グループ連絡会) 岩月 俊樹 (豊田市PTA連絡協議会) 土居 友二 (豊田商工会議所) 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会) 古田 寛 (愛知県バス協会) (代理：富山) 小林 宏 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理：田村) 川口 哲史 (名古屋鉄道株式会社) (代理：平井) 加藤 直樹 (名鉄バス株式会社) 境 政義 (豊栄交通株式会社) 安達 雄彦 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次第・配席図 2. 資料1～8：豊田市公共交通会議 平成26年度第1回会議資料 3. エコモビ推進表彰候補団体募集 4. (仮)都心環境計画の策定について 5. 豊田市公共交通会議規約

(要約)

4 議事

【協議案件】

(1) 路線延伸について

◆三好ヶ丘線（愛知学泉大学・日赤豊田看護大学スクールバス）

- みよし市 資料2に基づき説明
- 委員 みよし市のホームページ上でダイヤが閲覧できるなど、一般利用者に対しての周知はしているか。
- みよし市 当市でのPR等は一切していない。利用者は大学ホームページを見て利用している。
- 委員 利用促進をもっと充実させると、一般の利用も増えると思われる。
- みよし市 了解。

(2) おいでんバス車両の追加について

◆豊田東環状線 燃料電池バス投入による車両追加

- 事務局 資料3に基づき説明
- 委員 現在走行しているバスの長さを教えてほしい。
- 事務局 長さ10m92cm。
- 委員 H26年1月からいつまで走行する予定か。また利用者が、燃料電池バスの運行する便のダイヤ等を把握する方法はあるのか。
- 事務局 期間については、平成27年度も走行予定である。今後トヨタ自動車側と協議し決定していく。概ね、市販化されるまでと考えていただきたい。利用者への周知については、前回、平成22年に燃料電池バスを導入した際にもインターネットで掲示していたので今回も同様に実施する予定である。
補足として、今回のバスは市販化を目的にした実走実験が目的であり、ほぼ市販車に近い形となり、前回に比べ他のバス車両と同程度の頻度で走行させる予定である。

(3) 地域公共交通確保維持改善事業について

◆平成27年度 生活交通ネットワーク計画

- 事務局 資料4に基づき説明
- 委員 補足として本案件は、地域内フィーダー系統に関する補助金の説明だが、地域間をまたぐような幹線系統路線（藤岡・豊田線や旭・豊田線等）の補助金については県のバス対策協議会で対応している。
- 委員 補助申請額で2,300万円とあるが、実際に交付される額ほどの程度か。
- 事務局 昨年度実績は1,900万円であり、申請額とほぼ同じ水準で交付いただく予定である。
- 委員 目標利用者数はH29年まで増加予定ということで間違いないか。
- 事務局 そのように見込んでいる。稲武地域では人口減少傾向も見受けられるが、利用促進によりバス利用者は増やしていく予定である。

(4) バス停の新設・移設について

◆下山地域バス

- 事務局 資料5に基づき説明（下山支所）
意見等なし

(5) 自家用有償旅客運送の登録更新について

◆足助地域バス、旭地域バス

- 事務局 資料6に基づき説明（足助支所、旭支所）
- 委員 なぜ道路運送法第79条に基づく同制度を採用しているのかという説明を改めてお願いしたい。
- 事務局 この2地域は過疎地域という特性上、民間の運行事業者による十分なサービスが提供されない状況にあるため、市が運行主体となり自家用車両による有償運送を行うものである。
- 委員 運行車両のバリアフリー化についてはどのような状況か。また今後も同制度に基づいた運行を続けるのか、展望も踏まえて確認する。
- 事務局 合併前から使用している車両という事情もありバリアフリー化は進んでいない。また狭小な道路状況でも運行可能な現車両を継続使用しているという側面もある。車両購入の際には関係機関と調整しながらバリアフリー対応の車両を考えていきたい。また、本来同制度に基づいた運行が望ましいかどうかについても今後検討していく必要があると認識している。

【報告案件】

(1) 各種イベントに対応した運行計画の変更について

(豊田おいでんまつり、奥矢作温泉郷花火大会、上中のしだれ桃)

- 事務局 資料7に基づき説明
意見等なし

(2) 平成25年度の利用状況について

- 事務局 資料8に基づき説明
- 委員 イベント対応等により利用者数が上がっていることは評価に値する。資料によると8月に利用者が下がる傾向が強い。これは学生利用の減少が原因であるが、今後この時期に合わせてイベント等の利用促進を展開する予定はあるか。
- 事務局 8月ではないが、今年度から「新☆豊田市誕生10周年プロジェクト」を展開しておりその中でバスに関するイベントを実施予定である。それにより、普段バス利用されない方を利用に結び付けたい思いがある。また、イベントを足助地区で実施することにより都市部から中山間部地域へバスを利用して来てもらいたいと考えている。

5 その他

(1) エコモビ推進表彰候補団体募集について

(2) 都心環境計画への取り組みについて

(3) 次回、会議の開催予定について

- 事務局 次回会議は、平成26年12月ごろに開催を予定している。